

ランナーが ダム湖畔を快走!

第10回記念大会 日吉ダムマラソンの記録 (敬称略)

| 種目 | | 優勝者 | 優勝タイム |
|-------------------------------------|----|------------------|-----------------|
| ハーフマラソン (21.0975 ^{キロ}) | 男子 | 18~40歳 | 水田 和宏 1時間12分52秒 |
| | | 41歳以上 | 柿原 貴次 1時間17分08秒 |
| | 女子 | 18~40歳 | 坂根充紀米 1時間29分01秒 |
| | | 41歳以上 | 川田 千秋 1時間29分34秒 |
| 10 ^{キロ} ロードレース | 男子 | 大石 哲也 (新) 32分10秒 | |
| | 女子 | 中島 早苗 37分21秒 | |
| ファミリーレース (3.5 ^{キロ}) | | 太田 翔 (新) 10分55秒 | |

(新)…大会新記録

第10回記念大会日吉ダムマラソン開催

四月二十二日、府民の森ひよしをスタート・ゴール地点として、第十回記念大会日吉ダムマラソンが開催され、千七百四十五人のランナーが新緑あふれる日吉ダム湖畔で健脚を競いました。

開会式では、井尻治大会会長が、「きれいなダム湖畔を、けがのないよう快走してください」とあいさつ。

続いて、南丹市日吉町在住の坂野克さん、裕子さん、光風君、朝光君親子が、「わたしたち選手一同は、日ごろの練



▲雨の中を懸命に走るランナー



▲宣誓をする坂野さん親子



▲ゴールに到着

習の成果を十分に発揮し、最後まで走り抜くことを誓いました」と元気に選手宣誓されました。その後、十回大会を記念して来賓の方々による山桜の記念植樹が行われました。午前十一時、スターターを

務める佐々木市長の号砲で、ハーフマラソンを皮切りにファミリーレース、一〇キロロードレースが順次スタートしました。

また、十回大会を記念して、元オリンピック代表の真木和さんがゲストランナーとしてファミリーレースに参加し、大会を盛り上げました。

雨の降る中での大会となりましたが、沿道につめかけた市民や観光客の声援も後押しとなり、大会新記録が出るなど白熱したレースが展開され、日吉ダム周辺が熱気に包まれていました。